



環境経営評価支援システム

# エコステージ 導入事例集

エコステージ導入支援のご相談は

各種業種・業態に応じた企業への導入支援実績のあるエコステージ評価機関

## NPO法人 ノウハウ会へ!

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目3-16マルマスビル

エコステージ評価機関 NPO法人 ノウハウ会

申込は・・・Tel.06-6941-5557 Fax.06-6533-0302

E-mail info@khk.gr.jp URL <http://www.khk.gr.jp>

## ＜参考＞ エコステージ導入事例

### エコステージ [ I ] 導入企業事例の紹介 2005年～2006年

エコステージ評価機関 NPO法人ノウハウ会所属の評価員が支援して、2005年6月から2006年5月までの一年間で「エコステージ [ I ]」に関して認証を取得された企業の方々の事例をご紹介します。

紹介の対象としました企業様は、下記6件です。

- 事例-1. Kー運送協同組合様2005年6月認証取得、 認証サイト: 組合本部・と2ヶ所の配送センター
- 事例-2. 株式会社 Hー製作所様2005年12月認証取得、 認証サイト: 本社・本社工場
- 事例-3. N物流(株)・J運輸(株)様2005年12月認証取得、認証サイト: 両大阪営業所事務所・工場
- 事例-4. 株式会社 Nー商事様2005年12月認証取得、認証サイト: 本社・製造工場
- 事例-5. 株式会社 Eー社様2006年3月認証取得、認証サイト: 本社・製造工場
- 事例-6. 有限会社 Kー社様2006年5月認証取得、認証サイト: 本社・2工場・1販売店

# <事例-1> K—運送協同組合様

認証日：2005年6月7日

## ◆ 認証システム：

- ① エコステージ I 必須項目
- ② 環境側面管理
- ③ 外部コミュニケーション
- ④ 運用管理

## ◆ 取り組み項目：

- ① 省エネルギーの推進(電力)② 省資源の推進(燃料・用紙)③ 一般廃棄物の分別収集
- ④ 物流面での効率化推進⑤ 環境教育の推進

## ◆ 対象組織概要：

- ① 対象組織の範囲：  
K—組合本部、K—DCセンター、H—DCセンター
- ② 従業員数：47名
- ③ 事業内容：軽自動車運送業

## ◆ 導入の効果：

参考までに第三者評価機関へ提出した評価員による「総合評価」の内容を下記します。

## ◆ 総合所感：

組合組織は企業組織に比べフラットであるため、経営層の意思伝達に難しさがあった。然し、この度の環境経営導入活動を通じて、下記点での際立った意識改革がなされ、更なる改革の継続にむけ意欲をみせてきている。

- ① 環境経営を導入する以上、物流事業を遂行する組合として、ドライバー、所属車両などを含め組織の全ての状況を組合として掌握し、管理していかなばならぬと認識した事。
- ② 組合幹部層に、環境経営問題への取り組みは、企業経営そのものであるとの意識が芽生え、伴ってムリ、ムダ、ムラをはぶく作業環境改善にその成果が見えはじめ、活動の意識が理解された事。

## 職場環境の整理状況



- ③ 教育の推進、法の順守、チェックアンドレビューなどの活動を通じて、リスク管理の重要性が認識されてきた事。



# <事例-2> 株式会社 H-製作所様

認証日: 2005年12月06日

## ◆認証システム:

- ① エコステージ I 必須項目② 環境側面
- ③ 文書管理・記録の管理④ 運用管理

## ◆取り組み項目:

- ① 省エネルギーの推進(電力)② 省資源の推進(在庫・水・クレーム・用紙)③ 廃棄物の低減とリサイクルの推進
- ④ グリーン調達の推進⑤ エコ製品の開発、販売促進

## ◆対象組織の概要:

- ① 対象組織の範囲:  
(株)H-製作所本社及び工場
- ② 従業員数: 140名
- ③ 事業内容: 建築金物製造販売

## ◆導入の効果

- ①全職場にエコ活動専用の掲示板「エコ活動職場別推進状況」が配置され、日頃の活動状況が日々従業員間で確認されている、職場環境が目に見えて整備・整頓が達成されて大きな変貌をきたしている。
- ②廃棄物に関しては各部署別に配置された分別収集箱の利用による徹底的な分別収集がなされ、更に塩ビ関連廃棄物は新規購入の梱包機による減量梱包処置がなされ、廃棄物の大幅な減量と有効利用などに効果を上げている。
- ③産業廃棄物の処理に関しては、指定業者との契約更改ならびにマニフェスト管理の徹底などが実施され環境保全活動へ監視徹底が図られてきた。
- ④浄化槽を対象にした廃水処理設備の管理システムの再構築により、排水の管理の必要性の徹底が認識された。
- ⑤装置の機器種別稼動時の環境法関連事項測定チェックにより、リスク管理への事前対応が施され、さらなる職場環境の安全確保が実現されてきた。

以上ムリ、ムダ、ムラを省く作業環境の改善にその効果が職場の随所に見えはじめ、エコステージ活動を通じて環境問題に関心をもつようになり、日々実行していく事が環境保全に寄与する事であるという認識が従業員の間に生まれてきた。

## エコステージ推進委員会での 研修状況



## 活動中の在庫管理、整理状況



# <事例-3> N-物流株式会社 ・ J-運輸株式会社様

認証日:2005年12月06日

## ◆認証システム:

① エコステージ I 必須項目② 環境側面管理③ 文書・記録管理④運用管理

## ◆取り組み項目:

① 省エネルギーの推進(電力)② 省資源の推進(軽油・天然ガス車の導入)  
③ 廃棄物の低減④物流の効率化⑤グリーン調達の推進⑥ 環境教育の推進  
⑦ 美化活動

## ◆対象組織概要:

① 対象組織の範囲:

N-物流(株)大阪事業所、J-運輸(株)大阪営業所

② 従業員数:72名

③ 事業内容:製品の工場から消費地および消費地の輸送業務日本製紙製品の  
関西消費地での保管・荷役およびそれに伴う倉庫、事務業務

## ◆導入の効果:

環境経営システム「エコステージ」の導入宣言をし、その取り組み活動の概要  
従業員へ伝達すると同時に省エネ、省資源、の大幅な低減効果が現れてきた。

因みにその数値的効果は、2005年4月～10月までの実績で、省エネ(10%  
減)、省資源(4%減)、グリーン調達(パレット回収向上率)(20%強増)などが  
実証されてきている。

この活動を通じて内部的には、従業員のコスト意識とリスク管理が啓蒙され  
効果が現れ、更に積極的な外部へのエコステージ認証取得による「環境経営」  
取り組み現状の情報開示により外部での環境経営に対する信頼度の昂揚が期  
待されつつある。

## 初回評価 経営層のトップヒアリング状況



## 初回評価 現場インタビュー状況



# <事例-4>株式会社 M-商会様

認証日:2005年12月06日

- ◆認証システム:① エコステージ I 必須項  
② 環境側面管理③ 文書・記録管理④ 運用管理

◆取り組み項目

- ① 省エネルギーの推進(電力)
- ② 廃棄物の減
- ③ 在庫の削減
- ④ ムリ・ムダ・ムラのない生産効率を考慮

## (株)M社様に於ける活動状況

① (株)M社様は某大手取引企業からの要請もあり、今回エコステージ I の導入を決意され、エコステージ協会を通じて当方に依頼のあった会社である。

業種は段ホール・紙器類の印刷・加工・販売と文房具類の販売で53有余年社歴の老舗企業でエコステージ I 導入対象部門は本社と工場の2部門である。

② 2005年4月9日から始まった指導会は1ヶ月2回程度の割合で行っており、1回は事務局との打ち合わせで活動の進捗状況の確認と問題点の把握及び次回訪問時の課題を取り上げ指導している。この指導方法で現地訪問し、整理・整頓・清掃・清潔・躰の5S運動から始まり、逐一進捗状況の確認を行っている。

③ 幸いに従業員の改善意欲は旺盛で部門長主導のグループディスカッションを中心にお互いにアイデアを出し合い、それを「環境カード」の「わたしの工夫」欄に記入し、部門長、環境管理責任者が定期的に確認している。

④ 全社的な活動進捗状況確認の中で活動による成果、反省点、ワンポイント等については事務局が社内通信の形でまとめ、社内に掲示すると共に全社員に配布している。

第1号は2005年8月5日付で7月23日のキックオフ大会の様子や各部門から出たアイデア集が2ページに亘る社内通信で既刊されている。

今後は必要に応じてその時どきのテーマについて発行し、社内コミュニケーションの向上と意識高揚のために3ヶ月に1回を目途に発行する予定である。

## グループディスカッション状況





# <事例-5> 株式会社 E一社様

認証日:2006年3月20日

## ◆認証システム:

- ① エコステージ I 必須項目
- ② 環境側面管理
- ③ 運用管理

## ◆取り組み項目:

- ① 省エネルギーの推進(電力)
- ② 省資源の推進(在庫品・テープ類)
- ③ 廃棄物の低減
- ④ 5Sの推進
- ⑤ 生産・検品ミスとクレームの削減
- ⑥ 環境教育の推進

## ◆対象組織概要:

- ① 対象組織の範囲 株式会社E一社本社、工場
- ② 従業員数 18名
- ③ 事業内容 むいぐるみなどの縫製業 製造・販売

## ◆導入効果:

システムの運用を2005年9月から開始し、すでに約6ヶ月が経過、下記のような導入効果についての報告がなされてきている。

- ① 省エネ・省資源の活動を通じて従業員間で如何にムダを省くかのルール作りを実施し、そのルールのもとで、全従業員が協力して活動していく意欲が見られてきた。
- ② 廃棄物の削減をテーマに分別収集の徹底を実施してきたが、有効利用の効果を生み、大幅な廃棄物処理費の削減に結びついてきた。
- ③ 5S活動の推進により、職場環境の整理・整頓・清掃が徹底されてきて、整然とした職場環境が実現されてきた。
- ④ 生産・検品ミスの削減に関しては、削減のためのルール作りがなされ、ルールブックとして従業員各自に配布され、着実にミス削減に効果が現れてきた。

## ファーストステップ研修状況



## システム構築・運用確認状況



# <事例-6> 有限会社 K-社

認証日2006年05月30日

## ◆認証システム:

- ①エコステージ I 必須項目
- ②環境側面
- ③文書管理・記録の管理
- ④運用管理

## ◆取組み項目:

- ①省エネルギーの推進(電力)
- ②省資源の推進(燃料)
- ③資源の有効活用
- ④環境教育の推進

## ◆対象組織概要:

- ①対象組織の範囲:本社事務所、第一、第二工場、古タイヤショップ
- ②従業員数:26名
- ③事業内容:金属・プラスチック類・古紙・古タイヤ・家電類などのリサイクル事業

◆導入効果:事業そのものが、環境効率工場に寄与する内容であり、繁忙をきわめているが、今後の課題としてリサイクル品目の付加価値を如何に上げていくかであり、この点の開発に意欲を見せてきている。

## 部門責任者システム構築研修状況



## リサイクル作業状況

